

トムス クラウン サイドディフューザー

このたびはトムス サイドディフューザー(以下ディフューザー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(2018年12月)

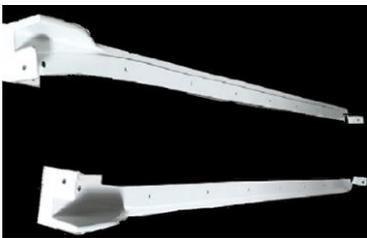
トヨタ クラウン GWS224/AZSH2#/ARS220 平成30年6月～トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- 1.ディフューザー取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
- 2.ディフューザー脱落防止のため、取り付けボルト等はしっかり締めてください。
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。
ディフューザーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
- 3.車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
- 4.塗装に際しては以下の点にご注意ください。
(詳しくは「サイドディフューザー素地品の塗装手順」を参照の事)
- 5.純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- 6.ディフューザー装着により、標準ロッカーパネルより、地上高約-28mm低くなります。
- 7.本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
- 8.塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

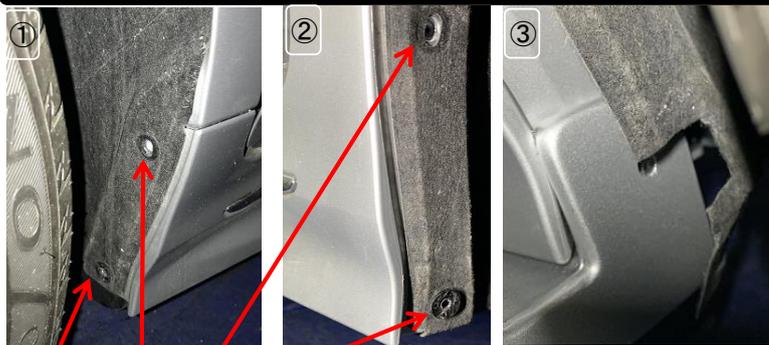
構成部品 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

【サイドディフューザー構成部品】



- ①サイドディフューザー L/R x各1
- ②ボルト(M6x16)x14
- ③ナット(M6)x14
- ④トムスエンブレムx2

取付要領 【本取り付け説明書は助手席側で説明を進めておりますが運転席側も同様に取り付けをお願いします。】



- 1.車両のロッカーパネルモールディングの車両ビス、(左図①、②参照)を取り外す。
リヤホイールハウスプレートの外側ビスを取り外す。

※取り外した車両ビスは再利用する。

- 左図③のようにリヤ側のインナーカバーをカットをする。
※本作業は手順5.のときでも良い。

↑部位のビスを取り外す。



2.①ディフューザーを車両へ仮合わせをし、マジック等で7ヶ所穴あけ位置をマーキングをする。

下図①はロックパネルを取り外した状態での穴開け位置(参考)

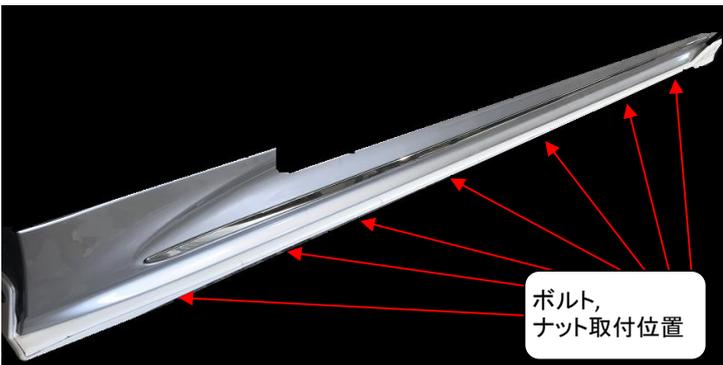
注意!

マーキングが正しく行われないとディフューザーが正しい位置に取り付けられず脱落の原因となる。



3.車両のロックパネルモールディングの下面クリップ前後ドアを開閉しビスを取り外しロックパネルモールディングを取り外す。
(詳細はトヨタ自動車(株)発行「整備要領書」を参考)

マーキング箇所を6.5Φドリルで穴あけをする。
※取り外した部品は再使用するため紛失、破損等に注意をする。



4.取り外したロックパネルに①ディフューザーを②、③ボルト、ナットを使用して取り付ける。

アドバイス

前後の車両ビスを仮締めしてから組み付けると作業がしやすくなる。



車両後端部



車両前端部



車両前端部外側



5.①ディフューザーを組付けたロックパネルを純正ビス、下面クリップを再使用して車両に取り付けをする。

6.④トムスエンブレム貼り付け箇所を脱脂処理をし貼り付ける。



7.各部の締め忘れがないか再度確認をする。



(お問い合わせ先)
株式会社 トムス
TEL: 03-3704-6191
月～金 AM9:00～PM5:00

TOM'S

サイドディフューザー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- ①サイドディフューザー L/R x各1
- ②ボルト(M6x16)x14
- ③ナット(M6)x14
- ④トムスエンブレムx2

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は40度以下で行うこと。

注意！

本製品はFRP製品のため適切な塗料を使用する。

注意！

40度以上の加熱は製品変形の恐れがある。